

## 第1回教育ファーム北陸ブロック推進協議会 議事概要

- 1 日時：平成20年7月25日（金）13：30～17：00
  - 2 場所：金沢勤労者プラザ 会議室（金沢市北安江3-2-20）
  - 3 委員：（1）教育ファームに積極的に取り組んでいる団体及び個人  
森田由樹子（富山県：ジャーナリスト）、橘 薫（石川県：「子育て生活応援団」代表）、高津琴博（福井県：NPO法人「田んぼの学校越前大野」理事長）  
（2）教育ファームに積極的に取り組んでいる市町村担当者  
小林毅夫（新潟県上越市 教育委員会教育長）、小森 裕（富山県入善町 教育委員会事務局長）、寺田 孝（石川県金沢市保健所 地域保健課課長補佐）、山名 聡（福井県小浜市 教育委員会教育総務課）  
（3）将来の教育者を育成する高等教育機関  
佐藤幸男（富山大学 人間発達科学部 学部長）、土井妙子（金沢大学 人間社会研究域 学校教育系 准教授）  
（4）管内各県等における食育推進担当課長  
新潟県農林水産部 食品・流通課長、富山県農林水産部 農林水産企画課長、石川県農林水産部 経営対策課長、福井県農林水産部 販売開拓課長、新潟県新潟市農林水産部 食と花の推進課長  
事務局：管内農政事務所、局消費生活課、地域各課及び局内関係各課
- 4 議事：
- （1）「国における教育ファームの推進状況について」  
農林水産省消費・安全局消費者情報官（説明：25分）  
全国における教育ファームの推進状況  
全国段階の教育ファーム推進協議会の状況
  - （2）「北陸ブロック教育ファーム推進協議会」設置について  
・「北陸ブロック教育ファーム推進協議会」設置要領  
座長選出・承認  
座長：新潟県上越市教育委員会小林毅夫教育長
  - （3）北陸ブロックにおける教育ファームの推進状況について  
北陸農政局消費・安全部消費生活課長（説明：15分）  
管内における教育ファームの状況  
・管内の教育ファームモデル実証地区の状況  
・管内の教育ファームの推進状況  
農作業体験等の取組状況  
・管内各地域の取組状況と問題点（福井地区、新潟地区）  
「御食国若狭おばま」食の教育の取組

説明者：小浜市教育委員会 山名指導主事（説明：15分）  
「上越市の教育ファーム取組 状況」  
説明者：上越市教育委員会 小林教育長（説明：17分）



「御食国若狭おばま」食の教育の取組



上越市の教育ファーム取組状況

……………休憩（15分）……………

<意見交換：主な意見>

- (1) 教育ファームは、子どもの成長にとって非常に有益なもの。しかし、学習指導要領の改変もあり、総合学習の時間が余り取れなくなり、教育ファームへもしわ寄せが来る危険性がある。そうした中で、何故に、学校のカリキュラムに取り組んでいくのかが重要である。
- (2) 小学生だけでなく、大学生や社会人になる前の青年に教育ファームを経験させていくべきである。そこで、物事を成すには、相応の努力と苦労があることや、収穫という達成感を覚えてもらうことが大事。それが、小学生等の指導にもつながっていく。  
大学生に農業体験をさせたいが、体験させる場というものが少ないので、経験できる場の確保を考えてもらいたい。
- (3) 小学校に入る前の幼児の段階でも経験させていくべきである。特に、親子で経験させていくことが重要である。教育ファームは、子どもに学ばせるだけでなく、子どもの体験を通じて、或いは子どもから直接親が学ぶことができる場でもある。
- (4) 教育ファームを推進していくためには、コーディネータの確保が必要。それからコーディネータを中心に、行政や学校、企業等が役割分担をして、教育ファームを進めていくべきである。
- (5) 教育ファームの効果が明確でないと、取り組んでももらえないもの。効果について、今後とも議論を進めていくべき。

